(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

枚方市長 殿

提出者

住所 大阪市北区天満1丁目3番21号 氏名 株式会社 松村組 大阪本店 取締役専務執行役員本店長 上野 稔 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6354-8814

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松村組 大阪本店
事業場の所在地	大阪市北区天満1丁目3番21号
計 画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	180.8億円
③従 業 員 数	136人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図のとおり) 一部のでは、					<u> </u>		
	産業	É廃棄物の処理に係る 管	理体制	こ関する事項			
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、		別添2 管理体制図ので 	とおり				
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、							
(前年度(令和5年度)実績] 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、ササイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす を業廃棄物の分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 でき型原薬物と管理型廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 でき型原薬物の分別 で変型原薬物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物の分別 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 安定型廃棄物・産業廃棄物に分別 ・つ般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ おおもを発表を持たいる 日本は、	· 소: 시		・田上ファ	₩ 75			
産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (プレカット、PC化、プレハブ化等)・ システム型枠、打ち込み型枠・ 型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・ 材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・ 分別により、有価物として回収される量を増やす 目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。・ 基準寸法の統一 (ロスの削減)・ 工事生産化 (ブレカット、PC化、プレハブ化等)・ システム型枠、打ち込み型枠・ 型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・ 対料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・ 分別により、有価物として回収される量を増やす 対料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・ 分別により、有価物として回収される量を増やす 安定型廃棄物と管理型廃棄物の分別・ 安定型廃棄物を廃棄物の分別・ 日 会はら物と廃棄物に分別・ 日 会はら物と廃棄物に分別・ 日 会はら物と廃棄物に分別・ 日 会はら物と廃棄物に分別・ 日 会はら物と廃棄物に分別・ 日 会はら物と廃棄物に分別・ 日 会に対している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別・ 日 会に対したのが、企業廃棄物に分別・ 日 会に対したのが、企業廃棄物に分別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対しため別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対しため別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対しため別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対しため別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対したの別・ 日 会に対しため別・ 日 会に対しため別の知りに対しまれるの別・ 日 会に対しまれるの別の知りに対しまれ	<u></u> 座, 第	(長年物の排出の抑制に 「一」	1		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
# 出 量 252.00 t 2.18 t (これまでに実施した取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リナクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一 (ロスの削減) ・工事生産化 (プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リナイルの検討を行う。・基準寸法の統一 (ロスの削減) ・工事生産化 (プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・あっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)			【前年月	世(令和5年度) 美績】	1	
①現状 名工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リキイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(グレカット、PC/化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リキイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(ブレカット、PC/化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす ・分別に対して、表記で、表記で、表記で、表記で、表記で、表記で、表記で、表記で、表記で、表記で			産業原	軽棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
①現状 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減)。 ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減)。 ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等)。 ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物に分別。 ・もっぱら物と廃棄物に分別。・もっぱら物と廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の利別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ つ般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ つ般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ 石綿含有産業廃棄物の分別 ・ 石綿含有産業廃棄物の分別			排	出量	252. 00 t	2.18 t	
①現状 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減)。 ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減)。 ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等)。 ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物に分別。 ・もっぱら物と廃棄物に分別。・もっぱら物と廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の利別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ つ般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ つ般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ 石綿含有産業廃棄物の分別 ・ 石綿含有産業廃棄物の分別			(これ	までに実施し	<u> </u>		
 ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等)・システム型枠、打ち込み型枠・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】		①現状	各工程~	で、発生元のホ	オ料ごとに減量化、分別、リ	リサイクルの検討を行う。	
 ・システム型枠、打ち込み型枠・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】		・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等)					
・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リナイルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・人の発育を実廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・ク般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ク般廃棄物・分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・合業廃棄物に分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ つばら物と管理型廃棄物に分別 ・ つばら物と管理型廃棄物に分別 ・ つばら物と管理型廃棄物に分別 ・ もっぱら物と管理型廃棄物に分別 ・ もっぱら物と管理が定発する事に分別 ・ もっぱら物と管理がに分別 ・ もっぱら物と管理がに分別 ・ もっぱら物と管理が定義を変更を変更に分別 ・ もっぱら物と管理がに分別 ・ もっぱら物と管理がに分別 ・ もっぱら物と管理がに分別 ・ もっぱら物と管理がに分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別 ・ 古紀音有産業廃棄物の分別							
・分別により、有価物として回収される量を増やす 【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一 (ロスの削減) ・工事生産化 (プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材 (仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)・一般廃棄物・産業廃棄物に分別・もっぱら物と廃棄物に分別・もっぱら物と廃棄物に分別・担理方法別(再生利用等)廃棄物の分別・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別・の一般廃棄物・産業廃棄物の分別・クトの機業を対して、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる。日本のはいる、日本のは、日本のはいる、日本のは、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のはいる、日本のは、日本のは、日本のは、日本のはいる、日本のは、日本のはいる、日本のは、日本のはいる、日本のは、日本のはいる、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは							
(目標) 産業廃棄物の種類 汚泥 廃プラスチック類 排 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイかの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ク般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・カーのののののののののののののののののののののののののののののののののののの							
産業廃棄物の種類 汚泥					, c c c c c c c c c c c c c c c c c c c		
# 出 量 226.80 t 1.96 t (今後実施する予定の取組) 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ちっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・ク後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・本のよう物と廃棄物に分別 ・方にら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・おっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別			日保』		T	1	
②計画 ②計画 ②計画 ②計画 ②計画 ②計画 ②計画 ②計画			産業原	軽棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
②計画 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の利別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の利別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物の利別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別			排	出量	226.80 t	1.96 t	
・基準寸法の統一(ロスの削減) ・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・和含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・の般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・おっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別			(今後	実施する予定	の取組)		
・工事生産化(プレカット、PC化、プレハブ化等) ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ちっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・ 処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の利別 ・一般廃棄物・産業廃棄物の利別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別		②計画				リサイクルの検討を行う。	
・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・ 処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・ 処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・ 少理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・ 会後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・ 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別						少 笔)	
・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・ 処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・ 処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 ・ 一般廃棄物・産業廃棄物の利別 ・ 安定型廃棄物に分別 ・ 安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・ おっぱら物と廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別 ・ もっぱら物と廃棄物に分別						L4)	
・分別により、有価物として回収される量を増やす 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別							
産業廃棄物の分別に関する事項							
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・ 石綿含有産業廃棄物の分別		* 万別により、有価物として凹収される里を増やり					
・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・右綿含有産業廃棄物の分別	産業	É廃棄物の分別に関する 「		() . ~ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 글 - 글 시 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
①現状 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・右綿含有産業廃棄物の分別			1			関する取組)	
①現状 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別		0 -17 1/5					
・処理方法別(再生利用等)廃棄物の分別 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別		[①現状	· もっ!	よら物と廃棄物	勿に分別		
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別							
・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別						(八口川ヶ田・ナフ 時如)	
②計画 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別			1			が分別に関する収組)	
・石綿含有産業廃棄物の分別		्रो का	・安定型	型廃棄物と管理	里型廃棄物に分別		
		少 計画					

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず		廃石膏ボード		コンクリート片		アス・コン片	
8.70	t	1.68	t	960.00	t	10.00	t

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
7.83 t	1.51 t	864.00 t	9.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
19.60 t	3.18 t	0.08 t	t

建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
17.64 t	2.86 t	0.07 t	t

自身	日ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
		【前年度(令和5年度)実績】			
		産業廃棄物の種類 -			
		産 兼 廃 乗 物 の 重	t		
	①現状	(これまでに実施した取組)			
		【目標】			
		産業廃棄物の種類 ー			
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t		
	②計画	(今後実施する予定の取組)			
自身	か 行う産業廃棄物の中間	- 処理に関する事項			
		【前年度(令和5年度)実績】			
		産業廃棄物の種類 -			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t	t		
	①現状		t		
		(これまでに実施した取組)			
		【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t	t		
	②計画		t		
		(今後実施する予定の取組)			

(第4面-1)

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
		【前年度(令和5年度)	実績】		
		産業廃棄物の種類	_		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	t
	الماس الم	(これまでに実施し†	と取組)		
		【目標】			T
		産業廃棄物の種類	_		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_	t	t
		(今後実施する予定の	少取組)		
産業	・ 廃棄物の処理の委託!	こ関する事項			
1					
		【前年度(令和5年度)	実績】		
		【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類	実績 】 汚泥		廃プラスチック類
		産業廃棄物の種類 全処理委託量		t	廃プラスチック類 2.18 t
		産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量	汚泥	t	
		産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処 理 委 託 量	汚泥 252.00		2.18 t
	①钼化	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量	汚泥 252.00 0.00	t	2.18 t 0.00 t
	①現状	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者へ 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収を行う業者 への処理委託量	汚泥 252.00 0.00 252.00 0.00 0.00	t	2. 18 t 0. 00 t 2. 18 t
	①現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者へ 処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	汚泥 252.00 0.00 252.00 0.00 0.00	t t	2.18 t 0.00 t 2.18 t 0.00 t
	①現状	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者へ 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収を行う業者 への処理委託量	汚泥 252.00 0.00 252.00 0.00 0.00	t t	2.18 t 0.00 t 2.18 t 0.00 t
	①現状	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者へ 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収を行う業者 への処理委託量	汚泥 252.00 0.00 252.00 0.00 0.00	t t	2.18 t 0.00 t 2.18 t 0.00 t
	①現状	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者へ 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収を行う業者 への処理委託量	汚泥 252.00 0.00 252.00 0.00 0.00	t t	2.18 t 0.00 t 2.18 t 0.00 t
	①現状	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者へ 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収を行う業者 への処理委託量	汚泥 252.00 0.00 252.00 0.00 0.00	t t	2.18 t 0.00 t 2.18 t 0.00 t

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
8.70 t	1.68 t	960.00 t	10.00 t
8.70 t	0.84 t	960.00 t	10.00 t
8.70 t	1.68 t	960.00 t	10.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
19.60 t	3.18 t	0.08 t	t		
6.00 t	0.00 t	0.00 t	t		
19.60 t	0.00 t	0.08 t	t		
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t		
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t		

(第5面-1)

		(27)	<u>1 — 1 /</u>	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
		全処理委託量	226. 80	t 1.96 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	0.00	t 0.00 t
		再生利用業者への 処理委託量	226. 80	t 1.96 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	0.00	t 0.00 t
	②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00	t 0.00 t
		(今後実施する予定の優良認定処理業者への		
※事	¥務処理欄			

(第5面-2)

木くず		廃石膏ボード	コンクリート片		アス・コン片
7.83	t	1.51 t	864.00	t	9.00 t
7.83	t	0.76 t	864.00	t	9.00 t
7.83	t	1.51 t	864.00	t	9.00 t
0.00	t	0.00 t	0.00	t	0.00 t
0.00	t	0.00 t	0.00	t	0.00 t

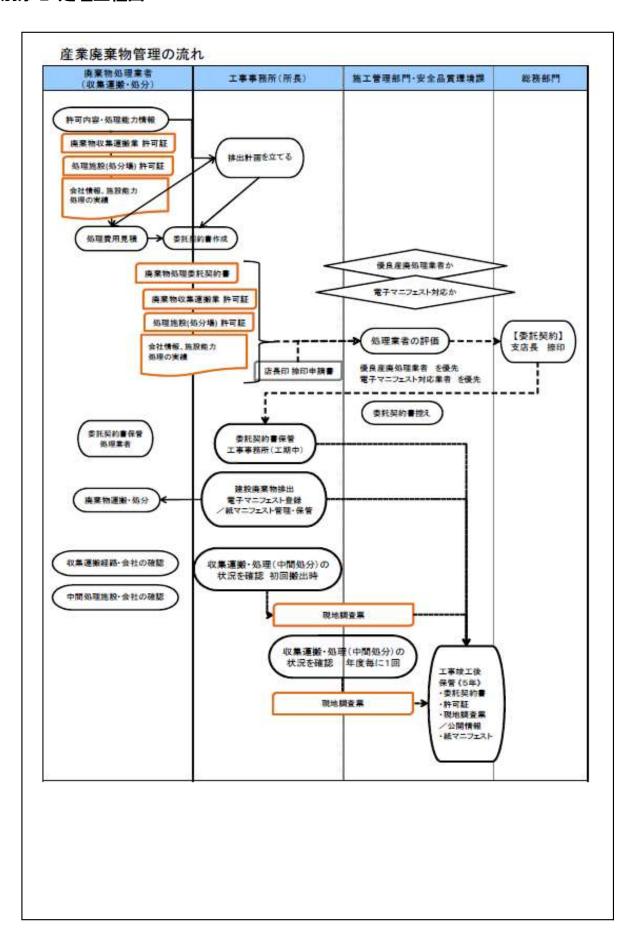
(第5面-3)

建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
17.64 t	2.86 t	0.07 t	t
5.40 t	0.00 t	0.00 t	t
17.64 t	0.00 t	0.07 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、 自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量 と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組 を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理 委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関 する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用 委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1 項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外 の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組 を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図



別添2 管理体制図

